



# 行政自治会だより

令和4年12月1日発行

第33号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 湯本 豊

## 令和4年度古河市地域防災訓練が実施されました



▲9グループに分かれて討議



▲各グループによる発表



▲地震体験車



▲震度6強の地震を体験

10月30日（日）三和地域交流センター（コスモスプラザ）及び三和庁舎敷地内において地域防災訓練が実施されました。対象地域は、三和北中学校区です。過去2回は、台風等の影響で中止となっており、校区内での防災訓練は、9年ぶりとなります。

今回の訓練は、「自分で守る・地域で守る」をテーマに、「古河市付近における直下型地震（震度6強）の発生」を想定したもので、実動訓練ではなく「災害図上訓練（DIG）」を取り入れた訓練となりました。訓練の参加者は、第15地区から第17地区内の23行政区で、各行政区からあらかじめ指定された44名で9グループに分かれて実施しました。

開会式の後、NPO 法人 茨城県防災士会の協力により準備した想定に基づき実施されました。それぞれ進行により想定された課題に、各グループ内で討議、意見を出し合うという形で進められていきました。限られた少ない時間内での作業で、初めての経験であり戸惑いを感じながらも、真剣に取り組んでいました。最後に各グループの発表があり訓練が終了となりました。特に、印象に残ったことは時間が少なかったことです。少ない時間の中でどのような対処をしなければならないか日頃の訓練の必要性を感じました。

参加者は、それぞれ貴重な体験となったことと思われれます。テーマでもある「自分で守る・地域で守る」ことを、それぞれの地域において、これらの体験を参考に実践されることと思います。

屋外においては、対象区域内外の住民を対象とした、地震体験車、煙テント等の体験及び各種防災・装備品の展示が行われており多数の人が訪れていました。

（広報委員 梅津 信男）

（写真 広報委員 関 一郎）

## コミュニティカフェ「いこい」 プレオープン

10月2日（日）、古河市第7地区で自治会とボランティアの協力により、コミュニティカフェ「いこい」がプレオープンしました（主催：第7地区コミュニティ）。会場の三和いこいの家には高齢者ら、およそ70人が参加。広場のテーブル席で飲み物を飲みながら談笑したり、輪投げゲームをしたり、ボランティア音楽バンドによる演奏も披露されるなど、和気あいあいとした雰囲気に包まれました。

コミュニティカフェは様々なテーマで、人と交流できる場所。誰でも気軽に立ち寄ることができる地域のあたたかい場所です。



▲ボランティア音楽バンドの演奏で歌う参加者



▲カフェで楽しむ高齢者の皆さん

初回は、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦などの人たちに参加を促しました。参加した89歳の女性は「すっかり外に出る機会が少なくなりました。本当は、誰かとたくさんおしゃべりたいです。だから、コミュニティカフェはありがたいです」と語りました。運営スタッフのひとり「今後は定期的に開催して、もっと多くの人たちに知ってもらい、カフェをより充実させていきたい」と話しています。

（広報委員 大澤 一男）

## —ご存じですか？行政相談委員— 「困ったら 一人で悩まず 行政相談」

私たち行政相談委員は、総務大臣から委嘱された民間有識者として、全国すべての市区町村の区域を単位に配置され、全国では約5,000人が日々活動を行っています。

古河市からは、鈴木悦子（けやき平）、青木充（下大野）、渡邊誠一（上辺見）、倉本仁司（尾崎）の4名が選任されています。

主な活動としては、古河市役所各庁舎での定例相談所の開設（相談日は広報古河の「各種相談のご案内」



▲今年の古河関東ド・マンナカ祭りでのPR活動

に掲載）、市内のイベント時におけるPR活動、スキルアップのための研修会への参加などがあります。また、相談は、国・県・市町村を含めた行政をめぐる日常生活の中での安心・安全・利便性の向上などに関するもので、例えば、道路、税金、年金など多岐にわたっています。私たちは、それらの相談の苦情や意見・要望を受け、そのための助言や、関係機関への働きかけを行っています。

この行政相談委員制度は、昭和36年に創設されて、昨年で60周年という節目の年となりましたが、まだまだ世の中での認知度は低い状況にあり、ぜひこれを機会に気軽に利用していただければと思います。

今後も相談に当たっては、誠意と公平に心掛け、皆様と行政をつなぐ懸け橋の役割を担い、地域がより一層「住みよいまち」になるよう願うものです。

（行政相談委員 渡邊 誠一）

## 編集後記

早いもので、もう一年の終わりの月となりました。師も走るような忙しい月、師走。でも、「師」って誰のことでしょう？この時期に忙しい人って誰でしょう。

師とはお坊さんだという説。この月になると、各家庭で法事を行うため、お坊さんが忙しくなるからと言います。それから学校の先生という説。

また、そもそも人ではなく、四季の終わりの月、「しはつ（四極）月」の音が変わって「しわす」になったという説。

いずれにしても、12月はやはりとても忙しい月。いよいよ寒くなってきます。体調に十分気をつけて、楽しい年末年始を迎えましょう。

（広報委員長 長濱 忍）

## 行政自治会広報委員会

委員長

長濱 忍

委員

鶴見尚司 関 一郎

大澤一男 白戸 正

渡邊誠一 梅津信男

増田清次 小林浩二